

2020 年度
事業報告書／収支決算書

自：2020 年 4 月 1 日

至：2021 年 3 月 31 日

公益財団法人 現代人形劇センター

理事長 塚田千恵美

神奈川県川崎市中原区井田 3-10-31

公益財団法人 現代人形劇センターは 2020 年度（令和 2 年度）事業を下記のように実施しました。

1・出版・刊行事業

2・伝統人形劇の研修及び研究講座の開催とその援助

A. 乙女文楽・後継者育成講座の開催

桐竹勘十郎師を講師に迎え、計画していましたが、
新型コロナウイルス（以後 COVID-19 と表記）感染予防のため、中止としました。

3・伝統人形劇の人形修理と製作

4・国内・海外人形劇の調査

5・関係団体との事業提携と後援

A. NPO法人飯田人形劇センターの活動に協力しました。

6・センター資料の整備

7・各種人形劇活動への参加と協力

8・現代人形劇研究事業

9・企画制作事業

<乙女文楽>

A. 公演と講座（委託事業）を以下のように行いました。

①社会福祉協議会交流会での上演

2021年1月12日 川崎市国際交流センター
対象：川崎市中原区内民生委員ほか、40名

主催：住吉地区社会福祉協議会

②川崎市国際交流センター 外国人市民向け公演

2021年2月12日 川崎市国際交流センター
対象：川崎市国際交流センター日本語クラス受講者、30名
主催：川崎市国際交流センター

B. 第10回ひとみ座乙女文楽公演を、主催しました。

2021年1月23日、24日 川崎市国際交流センター（神奈川県川崎市）
「本朝廿四孝」奥庭狐火の段／「壺坂靈験記」澤市住み家の段～山の段
公演数：4回
観客数：135人
助成：芸術文化振興基金／神奈川県文化芸術活動再開加速化事業補助金

※2020年5月にひとみ座スタジオにて実施する計画でしたが、COVID-19
感染予防のための緊急事態宣言発出により延期しました。
会場も、観客数を席数の50%にして対応するため、より広い会場に変更しました。

※公演終了後、初の有料動画配信を行いました。

2021年3月2日～15日

- C. 「乙女文楽上演会・女性が語るトークサロン」公演を行いました。
2020年12月12日 すくらむ21ホール（川崎市高津区）
演目「二人三番叟」「傾城阿波の鳴門」順礼歌の段
トークサロン 「乙女文楽と生きる女性たち」
観客数： 86人
共同主催：川崎市男女共同参画センター（協働事業）
- D. 「はじめての乙女文楽」公演を主催しました。
2021年2月1日、2日 川崎市総合自治会館ホール
演目：「二人三番叟」「義経千本桜」人形解説付
公演回数：4回
観客数： 135人
助成： J-LODlive コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金

※ダイジェスト英語字幕版を海外向けに配信します。（2021年5月）

- E. 地域交流公演を以下のように主催しました。
- ①川崎市高津区・地域交流公演
2020年11月28日、12月5日・・・プラザ橘
12月13日・・・高津区役所
参加者：合計約98人
共同主催：川崎市高津区（市民提案型事業）
- ②川崎市・老人福祉施設での上演
3施設での実施を計画していましたが、COVID-19感染予防のため、
施設訪問が行えず、
代替に、老人施設用に動画を撮影し、DVD化して5施設に配布しました。
配布先：特別養護老人ホームすみよし、山桜の森、せせらぎ、桜の丘、
有料老人ホームグランダ元住吉
助成：文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業）
- ③川崎市高津区内での学校交流ワークショップ（4校）
2020年9月～12月
坂戸小、上作延小、高津小、梶ヶ谷小（各校2回）合計8回
参加者数：約500人

共同主催：川崎市高津区（市民提案型事業）

④大人向けワークショップをオンラインで開催しました。

2021年3月7日、14日

参加者数： 8人

助成：文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業）

※COVID-19感染予防のため、対面から変更して実施。

E. 第13回ひとみ座乙女文楽教室を主催しました。

2020年8月11日～11月23日 ひとみ座スタジオ（全9回）

助成：文化庁・伝統文化親子体験教室事業、神奈川県

内容：初級クラス「二人三番叟」、上級クラス「傾城阿波の鳴門」

特別クラス「二人三番叟」（上級版）

参加者数：受講生7人（小学校5年、中学校1・2年、高校生1・2年、大学生）

発表会観客：約20人（家族のみ）

F. 乙女文楽教室修了生の会による上演を動画撮影し、配信を行いました。

2021年3月25日より配信

出演者数：5人（中学生1人、高校生2人、大学生2人）

助成：文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業）

※COVID-19感染予防のため、上演できる地域イベントがすべて中止となったための対策。

<いいだ人形劇フェスタ 2020 への協力と参加>

いいだ人形劇フェスタが、COVID-19感染予防のため中止となりました。

<各種人形劇の企画・制作>

A. 逗子文化プラザで、ひとみ座「岸辺のヤービ」公演を行いました。

12月19日 逗子文化プラザ（神奈川県逗子市）

公演回数：2回

観客数：304人

主催：逗子文化プラザ

B. 横浜人形の家 赤い靴劇場 定期公演

7月～11月 3公演

※COVID-19感染予防のため、全公演中止となりました。

<伝統人形芝居の人材育成>

A. 島根県益田市の「益田糸あやつり人形保持者会」の後継者育成プログラム

2020年12月～2021年3月

講座 人形操演、人形製作（講師 飯室康一）6回

義太夫節・三味線、（講師 竹本越孝、鶴澤駒治）4回

演目 「鎌倉三代記」三浦別れの段 他

主催 (公財) 島根県文化財団

※ COVID-19 感染予防のため、全回オンラインで行いました。

<動画配信事業>

現代人形劇センター専用チャンネルを開設し、以下を行いました。

この他は、各事業内で記述しています。

A. からくり人形コレクション

所蔵するからくり人形のうち 27 点を、19 回にわたりシリーズで配信しました。

B. シリーズアジアの人形芝居

1993 年から実施した、アジアの人形芝居招へい公演シリーズを、動画にて配信しました。

※デフ・パペットシアター・ひとみについては、11. 項で記述します。

10・海外交流事業

A. ろう者の参加する日本とラオスの人形劇団共同ワークショップを開催する計画でしたが、COVID-19 感染予防のため劇団招聘が叶わず、2021 年度に延期しました。

なお、計画内容は、以下のようでした。

目 的： ろう者の参加する人形劇団がともに表現の可能性をさぐる

参加劇団： 日本・デフ・パペットシアター・ひとみ

ラオス・劇団カオニャオ

計画日程： 2020 年 9 月。(2021 年度に延期)

共 催： 川崎市

助 成： 国際交流基金、赤い羽根共同募金会

B. ラオスの現代人形劇ワークショップを主催しました。

2021 年 2 月 25 日 横浜市ろう学校 (オンライン)

3 月 26 日 川崎市国際交流センター (対面式、一般向)

講師：デフ・パペットシアター・ひとみ

助成：赤い羽根共同募金会

※Aの事業の延期に伴い、実施しました。

C. アジアの人形劇 (ラオスの現代人形劇) 交流ワークショップを主催しました。

2020 年 9~12 月 川崎市内の小・高校 5 校、合計 12 回。

川崎市立東小倉小、富士見台小、戸手小、川崎高校、橘高校
(すべて川崎市立)

講師：あさぬまちずこ、中山裕貴

助成：(公財)かわさき市民活動センター

D. 中国の影絵人形展 展示協力

2020 年 10 月 日中友好会館

主催：(公財)日中友好会館

※COVID-19 感染予防のため、2021 年度へ延期となりました。

E. 乙女文楽台湾公演

2020年9月 衛武宮国家芸術文化センター（高雄市）

※COVID-19 感染予防のため、2022年度へ延期となりました。

11. デフ・パペットシアター・ひとみの活動

<公演>

A. 「河の童」を 2 か所（3 ステージ）で公演しました

2021年2月 神奈川県（☆川崎市国際交流センター 2 ステージ）

2021年2月 栃木県（大田原市）

※以下の公演は、COVID-19 感染予防のため、延期または中止されました。

延期 1 か所

山形県（寒河江市）→2021年9月に延期、

中止 16 か所

愛知県（犬山市）／愛知県（岡崎市）／大阪府（八尾市）／
和歌山県（橋本市）／茨城県（つくば市）／長崎県（新上五島町）／
長崎県（五島市）／熊本県（高森町）／島根県（浜田市）／
鳥取県（日南町）／島根県（雲南市）／静岡県（焼津市）／
長野県（佐久市）／鹿児島県（屋久島町）／神奈川県（川崎市）／
群馬県（大泉町）

B. 「一寸法師」を 1 か所（1 ステージ）で公演しました。

白百合学園小学校（東京都オリンピック・パラリンピック教育推進支援事業）

※以下の公演は、COVID-19 感染予防のため中止されました。

長野県（飯田人形劇フェスタ）

C. 「のはらうた」を 1 か所（2 ステージ）で公演しました。

埼玉県立川の博物館（埼玉県寄居町）

D. 「はこ BOXES ～じいちゃんのオルゴール♪」を以下のように公演しました。

①2020年度文化庁文化芸術による子ども育成総合事業－巡回公演事業－

実施校：京都府、石川県、福井県、富山県、岐阜県、千葉県の小学校 8 校

※以下の公演は、COVID-19 感染予防のため中止されました。

京都府 1 校

※文化庁子ども育成総合事業のチャンネルにて公演動画を配信しました。

②文化庁「次のにない手を育成する子ども向けコンテンツ制作事業」で公演しました。

実施校：横浜市立ろう特別支援学校／東京都立立川ろう学校

<ワークショップ>

① のはらうたワークショップ

東京都立立川ろう学校（文化祭で行う劇の手話表現指導も行いました。）

※2020年度文化庁文化芸術による子ども育成総合事業―芸術家の派遣事業―。

同事業で実施予定だった以下の学校でのワークショップは、COVID-19感染予防のため中止されました。

長野県長野ろう学校／東京都立葛飾ろう学校／佐賀県立ろう学校、
静岡県立沼津聴覚特別支援学校

② ○△□のワークショップ

正則学園高等学校（代表 榎本透の講演会も行いました）

※東京都オリンピック・パラリンピック教育推進支援事業

③ 「音おとオト・・・OTO～手づくり音創り～」ワークショップ

全国2か所

・ふれあいこどもまつり（東京都狛江市）

・「野鴨」事前ワークショップ（神奈川県川崎市）

講師：やなせけいこ他1名

④はこのワークショップ（講師：メンバー全員）

東村山市立南台小学校（東京都）

※東京都オリンピック・パラリンピック教育推進支援事業

⑤デフ・パペットシアター・ひとみ体験ワークショップ

川崎市国際交流センター

川崎市パラアート推進公募型事業委託

⑥オンラインワークショップ（人形作り／楽器作り）

助成：神奈川ネットワーク運動市民社会チャレンジ基金

⑦「スイミー」ワークショップ（講師：榎本）

ひとみ座第2スタジオ（川崎市）

⑧寺子屋ワークショップ

川崎市立聾学校

⑨紙皿人形作りワークショップ

練馬文化センター（東京都）

<その他>

A. 日本ろう者劇団他との共同創作プロジェクトに、メンバーが参加しました。

作品：「野鴨」（進行・演出：小野寺修二）

公演：2020年7月19日／20日 シアターX

2020年7月25日 川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

参加メンバー：榎本トオル、増子仁美

主 催：社会福祉法人トット基金

2018年からつづくプロジェクトの3年度目でした。

B. 動画配信事業を次のように行いました。

①川崎市文化芸術活動支援奨励金で「のはらうた」「封筒人形づくり」動画を作成。
Youtube「川崎市文化芸術応援チャンネル」に掲載

②神奈川県ネットワーク運動で「のはらうた」動画を作成、県内ろう学校に提供。

③○△□の動画作成。Youtubeチャンネルで配信

④全国公演作品14作品を中心に、過去作品のダイジェスト動画をyoutubeチャンネルで配信

C. 「デフパペットシアターひとみニュース」を発行しました。

(年4回。うち3回はWEB掲載のみ)

13・建物賃貸事業

14・グッズ販売事業

デフ・パペットシアター・ひとみのグッズ販売は、COVID-19感染予防のため全国公演がすべて中止または延期となったため、行えませんでした。

15・その他、定款に定められた事業の推進